

| 羅 針 盤 | | | 方 策 | 第1回点検・評価 | | | 第2回点検・評価 | | | |
|----------------------------------|--|--|--|--|----------|---|---|----------|--|--|
| 評価対象 | 評価項目 | 具体的数値項目 | | 自己評価 | 外部アンケート等 | 改善策 | 自己評価 | 外部アンケート等 | 改善策 | |
| I 特色ある学校づくりに努めていますか。 | 1 特色ある教育活動を行っていますか。 | ①「単位制の履修形態に満足している」と考える生徒・保護者が90%以上である。 ②「自分の学校が好きである」と考える生徒・保護者が80%以上である。 | 履修ガイダンス及び履修相談の充実のため、研修等で職員の共通理解を図る。 生徒の修学目的が達成できるようにサポートする。 | A | A | 本校の教育課程等について、生徒及び保護者の100%が肯定的である。引き続き、きめ細かな履修相談を実施し、生徒の単位修得を促す。 | A | A | 本校の教育課程等について、生徒及び保護者の100%が肯定的な回答をしている。次年度も引き続き、きめ細かな履修相談を実施し、生徒の単位修得を促す。 | |
| | II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。 | 2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。 3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。 | | ③「授業が分かりやすい・適切である」と考える生徒・保護者が90%以上である。 ④「学力が向上した」と考える生徒・保護者が70%以上である。 | A | A | 7月と12月に授業アンケートを実施し、生徒の実態に合った授業を工夫する。 主体的・対話的で深い学びの実現を目指して生徒理解に努めるとともに、学習の過程を重視して、自主的・自発的な態度を育成する授業に取り組む。 | A | A | スクーリングの実施状況について、生徒及び保護者の97%が肯定的な回答をしている。引き続き、生徒の実態に即した指導の実施に努める。 本校に入学して学力が向上したと思う生徒は85%、保護者は78%である。主体的に対話的な深い学びの実現を目指して、生徒が学力の向上を実感できるよう、レポート指導・スクーリングの質の向上に努める。 |
| III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。 | 4 組織的・継続的な指導を行っていますか。 | ⑤全教職員が、重点目標を踏まえた自己目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。 ⑥生徒に関する情報交換を月2回以上行う。 ⑦「交通マナー・交通ルールの遵守を意識している」と考える生徒・保護者が100%である。 ⑧生徒の単位修得率が60%以上である。 | 重点目標と学校評価一覧表を連結し、これらに基づいて自己申告書を作成する。 情報の共有化を図り、統一した指導体制をとる。 「フレックス通信」等で交通マナー・交通ルールの遵守を呼びかけるなどして、生徒の意識を高め、自己啓発を図る。 学籍管理システムの有効利用を図り、指導に生かし、個々の生徒にきめ細かな指導を行う。 | A | / | 全ての教職員が、教育目標及び学校運営方針等を踏まえて自己目標等を設定し、教育活動を展開している。 | A | / | 全ての教職員が、教育目標及び学校運営方針等を踏まえて自己目標等を設定し、教育活動を展開している。 | |
| | 5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。 | ⑨「学校は、いじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。 | | オリエンテーションや集会、フレックス通信等において、いじめ防止に係る方針等を生徒に周知するとともに、いじめの早期発見を心がけ、認知した際は組織で対応し、早期解消に努める。 | A | A | いじめの防止や早期発見に向けた学校の取組について、生徒の89%、保護者の85%が肯定的である。引き続き、学校の「いじめ防止基本方針」等に沿って積極的にいじめを認知し、組織的・継続的な対応を行う。 | A | A | いじめの防止や早期発見に向けた学校の取組について、生徒の92%、保護者の91%が肯定的な回答をしている。本年度、いじめの発生は確認されていないが、今後も「いじめ防止基本方針」等に沿って組織的・継続的な対応を行う。 |
| | 6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。 | ⑩「携帯電話やフレックス通信でいつも学校の情報を確認している」と考える生徒・保護者が90%以上である。 ⑪「学校生活が充実している」と考える生徒・保護者が70%以上である。 ⑫「教育相談が充実している」と考える生徒・保護者が80%以上である。 | | スクーリング実施日に合わせてホームページを更新し、携帯電話等で学校からの連絡が見られるようにする。 安全・安心な学習環境を整え、学校行事等を精査して実施することで学校生活の充実を図る。 管理職、教育相談係、スクールカウンセラー等が連携し、個々の生徒へ複数の教職員で支援を行う。 | A | A | 「フレックス通信」による情報配信について生徒の93%、保護者の94%が伝わっていると回答している。今後も丁寧な対応を行う。 | A | A | 「フレックス通信」による情報配信については、生徒の92%、保護者の95%が連絡や情報が伝わっていると回答している。引き続き適切な情報の周知に努める。 |
| | 7 計画的な指導を行っていますか。 | ⑬「進路指導が信頼できる」と考える生徒・保護者が70%以上である。 ⑭進路情報を年4回以上発信する。 | | 進路指導計画を確立し、系統的な指導を行う。 生徒や保護者に有用な情報を提供する。 | A | A | 本校の進路指導について、生徒の93%、保護者の90%が信頼していると回答している。引き続き、生徒の希望に即した指導の在り方の模索に努める。 | A | A | 本校の進路指導について、生徒の88%、保護者の91%が信頼していると回答している。引き続き、生徒の希望に即した指導の実施及び定着を図る。 |
| | 8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。 | ⑮「進路目標の実現に向けて努力している」と考える生徒・保護者が70%以上である。 | | 卒業年次生の進路目標の達成を支援する。 | B | B | 将来の夢に向かって努力していると回答した生徒は74%、子どもの夢や志望を知っていると回答した保護者は80%であった。卒業年次生を中心に、進路目標の達成に向けた指導の充実を図る。 | B | A | 将来の夢に向かって努力していると回答した生徒は84%、子供の夢や志望を知っていると回答した保護者は70%で進路実現に向けた生徒及び保護者の意識が前期より向上したと考えられる。 |
| | 9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。 | ⑯通信制だよりである「フレックス通信」を月2回以上発行する。 ⑰学校（通信制）のホームページを月2回以上更新する。 | | 保護者にも通信制の様子が伝わるよう多くの情報を提供する。 最新の情報を提供できるよう全教職員が心がける。 | A | / | スクーリング等に合わせて「フレックス通信」を発行し、情報提供に努めている。引き続き、有用な情報の提供に努める。 | A | / | スクーリング等に合わせて「フレックス通信」を発行し、情報提供に努めている。引き続き、有用な情報の提供に努める。 |
| VI 教育のデジタル化に努めていますか。 | 10 ICTを活用した指導を行っていますか。 | ⑱授業においてICT機器を活用した講座の割合が70%以上である。 | PC、書画カメラ等を適切に活用することにより、分かりやすい授業を行うよう心がける。 オンラインで共有できる情報を精査し、職員会議や打合せの効率化を図る。 | B | / | 前期はICT機器を活用した講座は全体の73%であった。ICT機器の有効活用による分かりやすい授業の実施に努める。 | C | / | ICT機器を活用した講座は開講講座の68%であった。ICT機器の有効活用による分かりやすい授業の実施に努める。 | |
| | 11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。 | ⑲職員間の情報共有にオンラインを活用している。 | | A | / | 情報部が情報を共有するためオンライン掲示板を作成した。今後さらに有効に活用できるよう努める。 | A | / | オンライン掲示板を活用した打合せが定着し、連絡等で活用する機会が増加した。今後さらに有効活用する機会が増加した。今後さらに有効活用する機会が増加した。今後さらに有効活用する機会が増加した。 | |